

ブラジル株式 ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式				
信託期間	2014年12月19日から2019年12月25日まで				
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。				
主要運用対象	円建ての外国投資信託証券であるクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)および国内の証券投資信託であるマネーブルマザーファンドを主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。				
	<table border="1"> <tr> <td>クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)</td> <td>担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</td> </tr> <tr> <td>マネーブルマザーファンド</td> <td>わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(適格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)	担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズMSCIブラジル・キャプットETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。			
マネーブルマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。				
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。				
分配方針	毎決算時(毎月25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益(評価益を含みます。)が中心となる場合があります。				

運用報告書(全体版)(第6作成期)

第28期(2017年5月25日) 第31期(2017年8月25日)
第29期(2017年6月26日) 第32期(2017年9月25日)
第30期(2017年7月25日) 第33期(2017年10月25日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース」は、2017年10月25日に第33期決算を行いましたので、第28期から第33期の運用状況をご報告申し上げます。
今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

決算期		基準価額			債券組入比率	債券先物比率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド(道格機関投資家限定)(ツイン・アルファ・クラス)組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
		円	円	%	%	%	%	百万円
第2作成期	4期(2015年5月25日)	9,113	200	△3.4	0.9	—	98.2	270
	5期(2015年6月25日)	9,038	200	1.4	0.9	—	98.4	268
	6期(2015年7月27日)	7,752	200	△12.0	—	—	98.1	233
	7期(2015年8月25日)	6,289	200	△16.3	—	—	98.5	181
	8期(2015年9月25日)	5,640	200	△7.1	—	—	97.8	160
	9期(2015年10月26日)	6,008	200	10.1	—	—	98.1	172
第3作成期	10期(2015年11月25日)	6,155	200	5.8	0.6	—	98.4	178
	11期(2015年12月25日)	5,143	200	△13.2	0.7	—	97.9	147
	12期(2016年1月25日)	4,149	200	△15.4	0.7	—	97.9	114
	13期(2016年2月25日)	4,127	200	4.3	0.6	—	98.1	133
	14期(2016年3月25日)	4,551	200	15.1	—	—	96.1	200
	15期(2016年4月25日)	4,635	200	6.2	—	—	89.4	345
第4作成期	16期(2016年5月25日)	4,289	200	△3.1	—	—	95.8	584
	17期(2016年6月27日)	4,065	200	△0.6	—	—	97.8	785
	18期(2016年7月25日)	4,484	200	15.2	—	—	97.5	1,145
	19期(2016年8月25日)	4,206	140	△3.1	—	—	96.3	1,675
	20期(2016年9月26日)	4,178	140	2.7	—	—	97.0	1,390
	21期(2016年10月25日)	4,479	140	10.6	—	—	98.5	1,467
第5作成期	22期(2016年11月25日)	3,941	140	△8.9	—	—	98.0	1,461
	23期(2016年12月26日)	3,722	140	△2.0	—	—	98.3	1,578
	24期(2017年1月25日)	3,901	140	8.6	—	—	97.7	2,129
	25期(2017年2月27日)	3,827	140	1.7	—	—	91.9	3,799
	26期(2017年3月27日)	3,585	140	△2.7	—	—	98.3	5,287
	27期(2017年4月25日)	3,489	110	0.4	—	—	98.4	6,491
第6作成期	28期(2017年5月25日)	3,331	110	△1.4	—	—	98.7	6,497
	29期(2017年6月26日)	3,091	110	△3.9	—	—	97.8	6,301
	30期(2017年7月25日)	3,217	110	7.6	—	—	98.2	7,079
	31期(2017年8月25日)	3,248	110	4.4	—	—	97.9	7,307
	32期(2017年9月25日)	3,286	110	4.6	—	—	98.0	7,794
	33期(2017年10月25日)	3,181	110	0.2	—	—	98.4	7,881

(注) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日		基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III- ブラジル株式アルファ・ ファンド (通称 機関投資家限定) (ツイン・アルファ・ クラス) 組 入 比 率
			円	騰 落 率			
第28期	期 首 (前期末)	2017年4月25日	3,489	—	—	—	98.4
		4月末	3,480	△0.3	—	—	98.5
	期 末	2017年5月25日	3,441	△1.4	—	—	98.7
第29期	期 首 (前期末)	2017年5月25日	3,331	—	—	—	98.7
		5月末	3,351	0.6	—	—	98.5
	期 末	2017年6月26日	3,201	△3.9	—	—	97.8
第30期	期 首 (前期末)	2017年6月26日	3,091	—	—	—	97.8
		6月末	3,163	2.3	—	—	98.5
	期 末	2017年7月25日	3,327	7.6	—	—	98.2
第31期	期 首 (前期末)	2017年7月25日	3,217	—	—	—	98.2
		7月末	3,229	0.4	—	—	98.5
	期 末	2017年8月25日	3,358	4.4	—	—	97.9
第32期	期 首 (前期末)	2017年8月25日	3,248	—	—	—	97.9
		8月末	3,250	0.1	—	—	98.9
	期 末	2017年9月25日	3,396	4.6	—	—	98.0
第33期	期 首 (前期末)	2017年9月25日	3,286	—	—	—	98.0
		9月末	3,193	△2.8	—	—	98.4
	期 末	2017年10月25日	3,291	0.2	—	—	98.4

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

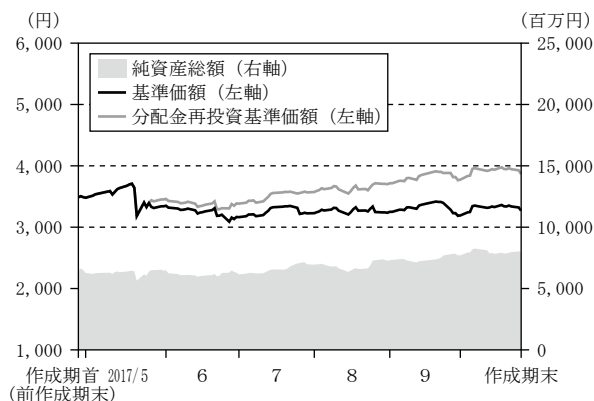
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、ブラジル株式とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第28期首：3,489円

第33期末：3,181円（既払分配金660円）

騰落率：11.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年4月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れているクレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）において、ブラジル株式（ETF）などがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）	12.4%
マネープールマザーファンド	△ 0.0

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。2017年5月には、米トランプ政権とロシアとの不透明な関係を巡る報道を受けて米政権運営への不安が広がり世界的な株安となったことに加え、ブラジルにおいてテメル大統領が政界汚職の隠蔽に関与したとの報道を受けて同大統領の辞任・弾劾が意識され、財政審議や経済改革の遅れへの懸念が強まったことなどから株価は急落しました。しかしその後は、原油や鉄鉱石など商品市況が回復をみせたことや、ブラジル中央銀行による利下げの決定、ブラジル政府が国営電力会社の民営化計画を明らかにしたことなどが好材料となって株価は上昇基調で推移し、ブラジルの主要株価指数であるボベスパ指数が史上最高値を更新する展開となりました。

【為替市況】

当作成期の円・米ドル相場は円安米ドル高となりました。作成期初は、フランス大統領選挙の結果を受けて同国のEU（欧州連合）離脱への懸念が和らぎ、投資家のリスク選好が強まるなか円安米ドル高が進行しました。米国で弱い経済指標がみられたことや、トランプ大統領の政権運営への不透明感が意識されたことなどから米ドルが円に対し下落する局面もありましたが、6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが発表され、声明文でバランスシート縮小を年内に開始する可能性が示されたことを受けて、再び円安米ドル高基調に転じました。その後は、北朝鮮問題への警戒感や、米国における大型ハリケーンによる影響への懸念が米ドルの上値を抑える展開が続きましたが、北朝鮮情勢の緊張緩和やハリケーン被害が最悪シナリオを回避したとの見方が広がったことにより米ドルは買い戻され、9月のFOMC議事録で年内追加利上げの可能性が高いことが示唆されたことなどを背景にさらに円に対し上昇しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期初の $\Delta 0.17\%$ から作成期末は $\Delta 0.19\%$ となりました。日銀の国庫短期証券買入オペ動向に対する不透明感などから利回りが上昇する局面もありましたが、作成期末にかけて海外勢による需要の高まりなどを背景に金利は低下しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）を概ね高位に組入れ、マネープールマザーファンドにも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、実質的に、ブラジル株式（ETF）とブラジル株式・オプション取引に加えて、通貨オプション取引の投資成果の享受を目指して運用を行いました。

【マネープールマザーファンド】

国債の利回りがマイナスで推移したことから組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%となりました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1万円当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第28期から第33期まで各110円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象であるマネープールマザーファンドへの投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）（ツイン・アルファ・クラス）】

担保付スワップ取引を通じて、実質的に、ブラジル株式（E T F）の上昇益の50%程度を狙いつつ、ブラジル株式（E T F）からの配当金+ブラジル株式（E T F）の株式オプションプレミアム+米ドル（対円為替レート）の通貨オプションプレミアムのインカム性収益の獲得を目指します。

【マネープールマザーファンド】

日本経済は、足許では内外の景気改善や円安などを背景にインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、日本の基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうした中で、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が継続し、金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2017年 4 月 26 日から 2017年 10 月 25 日まで)

費用の明細

項目	第 28 期 ~ 第 33 期		項目の概要
	2017/ 4 / 26 ~ 2017/ 10 / 25		
	金額	比率	
平均基準価額	3, 277 円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	24 円 (9) (14) (1)	0. 720 % (0. 271) (0. 433) (0. 016)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0. 008 (0. 008)	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 / 作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	24	0. 728	

- (注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券 (親投資信託を除く。) が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。
- ※その他費用 (その他 2) は計上していませんが、マネーパルマザーファンドの 1 万口当たりの費用明細には、当ファンドの作成対象期間外に発生した金銭信託に係る手数料をその他費用 (その他 2) に計上しています。

売買および取引の状況 (2017年 4 月 26 日から 2017年 10 月 25 日まで)

(1) 投資信託証券

		第 28 期 ~ 第 33 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦 貨 建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	1, 738, 106	4, 658, 000	963, 272	2, 651, 946

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第 28 期 ~ 第 33 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マ ネ ー パ ル マ ー ザ ー フ ァ ン ド	千口 24, 409	千円 24, 820	千口 —	千円 —

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2017年 4 月 26 日から 2017年 10 月 25 日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2017年10月25日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第27期末)	当 作 成 期 末 (第 33 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	2,180,077	2,954,911	7,756,641	98.4

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 27 期 末)	当 作 成 期 末 (第 33 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
マネープールマザーファンド	54,084	78,494	79,805

(注) マネープールマザーファンド全体の受益権口数は127,371口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2017年10月25日現在)

項 目	当 作 成 期 末 (第 33 期 末)	
	評 価 額	比 率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式 アルファ・ファンド (適格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス)	7,756,641	92.8
マネープールマザーファンド	79,805	1.0
コール・ローン等、その他	522,074	6.2
投資信託財産総額	8,358,520	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年5月25日現在 2017年6月26日現在 2017年7月25日現在 2017年8月25日現在 2017年9月25日現在 2017年10月25日現在

項 目	第 28 期 末	第 29 期 末	第 30 期 末	第 31 期 末	第 32 期 末	第 33 期 末
(A) 資 産	7,105,306,332円	6,786,571,826円	7,590,204,153円	7,794,445,789円	8,445,659,639円	8,358,520,372円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	637,827,847	565,935,993	580,046,996	581,752,479	755,540,838	522,073,304
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) III-ブラジル株式アルファ・ ファンド (道格機関投資家限定) (ツイン・アルファ・クラス) (評価額)	6,412,474,475	6,165,631,823	6,955,158,555	7,157,700,117	7,635,125,608	7,756,641,724
マネー・プールマザー・ファンド (評価額)	55,004,010	55,004,010	54,998,602	54,993,193	54,993,193	79,805,344
(B) 負 債	608,064,686	484,824,146	511,017,351	486,803,528	651,264,478	476,943,227
未 払 金	297,000,000	240,000,000	225,000,000	210,000,000	340,000,000	119,000,000
未 払 収 益 分 配 金	214,538,943	224,241,332	242,029,889	247,464,212	260,938,461	272,554,002
未 払 解 約 金	89,062,068	12,678,608	36,561,307	20,931,962	41,260,844	75,904,282
未 払 信 託 報 酬	7,384,659	7,820,732	7,347,648	8,318,619	8,969,239	9,385,192
未 払 利 息	1,292	1,160	1,173	1,181	1,531	972
そ の 他 未 払 費 用	77,724	82,314	77,334	87,554	94,403	98,779
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	6,497,241,646	6,301,747,680	7,079,186,802	7,307,642,261	7,794,395,161	7,881,577,145
元 本	19,503,540,317	20,385,575,649	22,002,717,230	22,496,746,614	23,721,678,322	24,777,636,590
次 期 繰 越 損 益 金	△13,006,298,671	△14,083,827,969	△14,923,530,428	△15,189,104,353	△15,927,283,161	△16,896,059,445
(D) 受 益 権 総 口 数	19,503,540,317口	20,385,575,649口	22,002,717,230口	22,496,746,614口	23,721,678,322口	24,777,636,590口
1万口当たり基準価額(C/D)	3.331円	3.091円	3.217円	3.248円	3.286円	3.181円

(注) 当ファンドの第28期首元本額は18,602,866,420円、第28～33期中追加設定元本額は23,072,354,524円、第28～33期中一部解約元本額は16,897,584,354円です。

(注) 元本の欠損

第33期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は16,896,059,445円です。

(注) 第33期末の1口当たり純資産額は0.3181円です。

損益の状況

自2017年4月26日 自2017年5月26日 自2017年6月27日 自2017年7月26日 自2017年8月26日 自2017年9月26日
至2017年5月25日 至2017年6月26日 至2017年7月25日 至2017年8月25日 至2017年9月25日 至2017年10月25日

項 目	第 28 期	第 29 期	第 30 期	第 31 期	第 32 期	第 33 期
(A) 配 当 等 収 益	218,243,313円	227,371,747円	222,498,179円	218,190,169円	259,826,806円	280,558,608円
受 取 配 当 金	218,262,324	227,385,363	222,511,803	218,203,559	259,844,283	280,573,231
支 払 利 息	△ 19,011	△ 13,616	△ 13,624	△ 13,390	△ 17,477	△ 14,623
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 280,147,476	△ 459,141,107	226,155,689	81,568,224	58,327,286	△ 262,030,966
売 買 益	21,863,325	6,932,687	242,262,454	92,862,667	62,866,053	12,858,970
売 買 損	△ 302,010,801	△ 466,073,794	△ 16,106,765	△ 11,294,443	△ 4,538,767	△ 274,889,936
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,462,383	△ 7,903,046	△ 7,424,982	△ 8,406,173	△ 9,063,642	△ 9,483,971
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 69,366,546	△ 239,672,406	441,228,886	291,352,220	309,090,450	9,043,671
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 503,628,213	△ 698,635,115	△ 1,028,127,782	△ 683,175,165	△ 538,742,417	△ 428,784,725
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△12,218,764,969	△12,921,279,116	△14,094,601,643	△14,549,817,196	△15,436,692,733	△16,203,764,389
(配 当 等 相 当 額)	(1,861,058,757)	(1,966,672,637)	(2,152,445,378)	(2,208,743,047)	(2,324,069,028)	(2,441,698,102)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△14,079,823,726)	(△14,887,951,753)	(△16,247,047,021)	(△16,758,560,243)	(△17,760,761,761)	(△18,645,462,491)
(G) 合 計 (D + E + F)	△12,791,759,728	△13,859,586,637	△14,681,500,539	△14,941,640,141	△15,666,344,700	△16,623,505,443
(H) 収 益 分 配 金	△ 214,538,943	△ 224,241,332	△ 242,029,889	△ 247,464,212	△ 260,938,461	△ 272,554,002
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△13,006,298,671	△14,083,827,969	△14,923,530,428	△15,189,104,353	△15,927,283,161	△16,896,059,445
追 加 信 託 差 損 益 金	△12,222,522,982	△12,926,051,747	△14,117,815,402	△14,585,210,992	△15,445,206,664	△16,205,243,754
(配 当 等 相 当 額)	(1,857,300,744)	(1,961,900,006)	(2,129,231,619)	(2,173,350,151)	(2,315,555,097)	(2,440,218,737)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△14,079,823,726)	(△14,887,951,753)	(△16,247,047,021)	(△16,758,560,243)	(△17,760,761,761)	(△18,645,462,491)
繰 越 損 益 金	△ 783,775,689	△ 1,157,776,222	△ 805,715,026	△ 603,894,261	△ 482,076,497	△ 690,815,691

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

〔第28期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（210,780,930円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（1,861,058,757円）より、分配対象収益は2,071,839,687円（1万口当たり1,062円）であり、うち214,538,943円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第29期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（219,468,701円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（1,966,672,637円）より、分配対象収益は2,186,141,338円（1万口当たり1,072円）であり、うち224,241,332円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第30期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（218,816,130円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,152,445,378円）より、分配対象収益は2,371,261,508円（1万口当たり1,077円）であり、うち242,029,889円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第31期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（212,071,316円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,208,743,047円）より、分配対象収益は2,420,814,363円（1万口当たり1,076円）であり、うち247,464,212円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第32期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（252,424,530円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,324,069,028円）より、分配対象収益は2,576,493,558円（1万口当たり1,086円）であり、うち260,938,461円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

〔第33期〕

計算期間末における費用控除後の配当等収益（271,074,637円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,441,698,102円）より、分配対象収益は2,712,772,739円（1万口当たり1,094円）であり、うち272,554,002円（1万口当たり110円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2017年4月26日 ～2017年5月25日	2017年5月26日 ～2017年6月26日	2017年6月27日 ～2017年7月25日	2017年7月26日 ～2017年8月25日	2017年8月26日 ～2017年9月25日	2017年9月26日 ～2017年10月25日
当期分配金	110	110	110	110	110	110
（対基準価額比率）	3.197	3.436	3.306	3.276	3.239	3.342
当期の収益	108	107	99	94	106	109
当期の収益以外	1	2	10	15	3	0
翌期繰越分配対象額	952	962	967	966	976	984

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ブラジル株式アルファ・ファンド（適格機関投資家限定）
（ツイン・アルファ・クラス）（シングル・アルファ・クラス）

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分	類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用基本方針		<p>（ツイン・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャット ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>（シングル・アルファ・クラス） 担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャット ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主な投資対象		クレディ・スイス・インターナショナルを相手先とする担保付スワップ取引を投資対象とします。
投資態度		<p>（ツイン・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ MSCI ブラジル・キャット ETFとブラジル株式・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、原則として、ブラジル株式・オプション取引についてはおおむね純資産相当額の半分程度、為替オプション取引についてはおおむね純資産相当額程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。 <p>（シングル・アルファ・クラス）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①担保付スワップ取引を通じて、実質的に、iシェアーズ MSCI ブラジル・キャット ETFとブラジル株式・オプション取引の投資成果を享受し、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ③ブラジル株式・オプション取引の実質的な想定元本は、原則として、おおむね純資産相当額の半分程度で行うものとします。 ④資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限		<ol style="list-style-type: none"> ①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。 ④一発行会社の発行済総株式数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社ならびに管理会社は、自己又は投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
配分方針		原則として、毎月分配を行います。
投資運用会社		クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド

※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) (2) : バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。

(3) : ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日：2016年11月30日

	受益権総口数
シングル・アルファ・クラス	12,046口
ツイン・アルファ・クラス	412,012
合計	424,058口

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間：2015年12月1日～2016年11月30日

単位：円

収益	
手数料収入	393,231,488
担保付スワップ取引に係る純損失	(242,907,862)
投資純利益	150,323,626
費用	
運用費用	2,737,944
運用費用合計	2,737,944
分配前の期中の純資産変動	147,585,682
支払分配金	(390,493,544)
分配後の期中の純資産変動	(242,907,862)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(3) 組入資産の明細

作成基準日：2016年11月30日

担保付スワップ

単位：円

クラス	想定元本額	評価額
シングル・アルファ・クラス	120,462,930	55,822,522
ツイン・アルファ・クラス	4,120,119,630	1,405,784,818
合計		1,461,607,340

(注) 日付は現地基準です。

マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第11期（決算日 2016年11月10日）
（計算期間 2015年11月11日から2016年11月10日まで）

「マネープールマザーファンド」は、2016年11月10日に第11期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%	%	%	百万円
7期（2012年11月12日）	10,165	0.1	77.3	—	90
8期（2013年11月11日）	10,173	0.1	71.8	—	69
9期（2014年11月10日）	10,177	0.0	71.8	—	69
10期（2015年11月10日）	10,178	0.0	60.8	—	57
11期（2016年11月10日）	10,174	△0.0	—	—	67

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
期首 (前期末) 2015年11月10日	10,178	—	60.8	—
11月末	10,178	0.0	60.8	—
12月末	10,177	△0.0	61.0	—
2016年 1 月末	10,178	0.0	61.8	—
2 月末	10,179	0.0	61.7	—
3 月末	10,179	0.0	—	—
4 月末	10,179	0.0	—	—
5 月末	10,178	0.0	—	—
6 月末	10,177	△0.0	—	—
7 月末	10,177	△0.0	—	—
8 月末	10,176	△0.0	—	—
9 月末	10,175	△0.0	—	—
10 月末	10,175	△0.0	—	—
期 末 2016年11月10日	10,174	△0.0	—	—

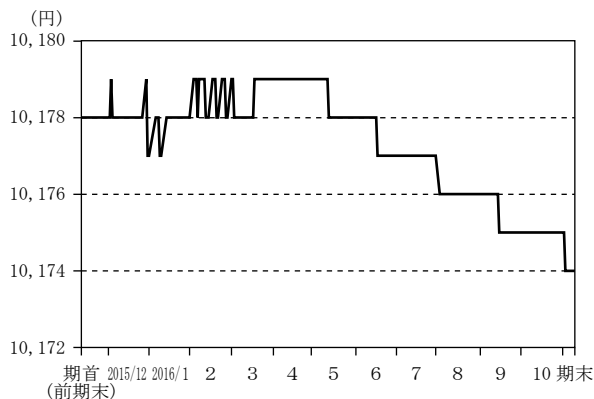
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の変動要因

基準価額は、期首の10,178円からスタートし、期末は10,174円となりました。運用対象である国庫短期証券やコールローンの利回りが0%を下回る水準で推移したことから、小幅に下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは低下しました。期初は $\Delta 0.005\%$ でスタートしましたが、2016年1月に日銀がマイナス金利政策の導入を決定したことや海外投資家の需要の高まりを受けて金利水準は大きく低下し、期末は $\Delta 0.30\%$ 程度となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

当期前半は国庫短期証券の組入比率は概ね60%程度の水準としましたが、国債の利回りがマイナスとなった局面では新規組入れを見送り、期末は0%となりました。残りの資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

国内景気は、緩やかなプラス成長となっていますが、基調はしっかりしているとはいえ、今後も不安定な状況が続くと見られます。このような状況下では、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いと思われます。日銀が導入した長短金利操作付き量的・質的金融緩和により、金利水準は抑制され、国内短期金利は当面0%を下回る水準で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、引続き短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2015/11/11～2016/11/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,177円	
その他費用 (その他2)	0円 (0)	0.002% (0.002)
合計	0	0.002

(注) 費用項目につきましては6ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

売買および取引の状況 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千円	千円
国 内	国 債 証 券	67,198	35,007 (67,000)

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

公社債

買 付	売 付
銘 柄	銘 柄
金 額	金 額
千円	千円
第278回利付国債(10年)	第93回利付国債(5年)
35,184	35,007
第93回利付国債(5年)	
32,013	

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2015年11月11日から2016年11月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2016年11月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2016年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,647	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	67,647	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	67,647,589円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	67,647,589
(B) 負 債	129
未 払 利 息	129
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	67,647,460
元 本	66,488,296
次 期 繰 越 損 益 金	1,159,164
(D) 受 益 権 総 口 数	66,488,296口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,174円

- (注) 期首元本額 56,554,319円
 期中追加設定元本額 11,004,919円
 期中一部解約元本額 1,070,942円
- (注) 1口当たり純資産額は1.0174円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
 欧州新成長国株式ファンド 53,684,809円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) ツインα・コース 12,272,647円
 ブラジル株式ツインαファンド (毎月分配型) シングルα・米ドルコース 530,840円

損益の状況

当期 自2015年11月11日 至2016年11月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	167,738円
受 取 利 息	195,716
支 払 利 息	△ 27,978
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 192,070
売 買 損 益	△ 192,070
(C) そ の 他 費 用 等	△ 1,174
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 25,506
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,008,647
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	195,081
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 19,058
(H) 合 計 (D+E+F+G)	1,159,164
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,159,164

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (G) 解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

平成28年1月27日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。